

事業名	地域に根ざした人材活用事業
-----	---------------

総事業費	38 千円
------	-------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	自ら学び自立する力をはぐくむ教育の推進

② 実施 (Do)

事業の意図	(1) 児童生徒の豊かな人間性の育成に資する (2) 教職員の指導力向上に資する	
事業の実績 と 成果	取組内容	講師として地域在住者や他校教職員等の人材を活用し、講師を務めた方へ謝金を支出する。
	成果	地域住民による児童対象の郷土学習や、専門教諭を招致した教職員研修等が多く行われ、実施した学校から好評を得ている。各校へ更なる活用を行うよう働きかけることで、一層本事業の成果を深めることができるものとする。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	成果が見られるが、本事業を活用した講義・講演開催数の目標値になかなか達しないことから、事業周知が不足していることが考えられる。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	本事業は、市の教育振興基本計画における施策「規範意識を養い、豊かな心を育む教育の推進」において、体験活動や文化活動、郷土教育の充実、また、教職員の資質向上等において重要な事業になっている。全ての学校で有効に活用されるよう、人材リストや活用例を共有できるようにするなど手立ての具体化を図り、予算を有効活用し、事業を充実させていく。

④ 改善 (Action)

2019年度方向性	周知を強化し、各校における本事業を活用した講義・講演の実施数増を図る。それにより、更なる児童生徒の学習意欲向上や教職員の資質向上につなげる。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	外国青年招致事業
-----	----------

総事業費	8,007 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	学校教育の充実
	基本事業名	自ら学び自立する力をはぐくむ教育の推進

② 実施 (Do)

事業の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語活動、外国語科の学習に対する意欲向上を図る。 ・異文化理解や国際交流への関心を高める。 	
事業の実績 と 成果	取組内容	JETプログラムを利用して、ALTと業務契約を締結し、派遣申請のあった学校へ派遣する。
	成果	小学校では3・4年生の外国語活動、5・6年生の外国語科が、2020年度から全面实施となる。平成30年度から2年間は、その移行期として授業数が増加している。本市では、平成30年8月からALT2名体制とし、各校への派遣回数を増やした。それにより、児童・生徒がより多くネイティブの英語に触れ、また異文化理解の機会を増やすことを可能とした。これまで、特に小規模校は月1回程度のALT派遣にとどまっていたが、同年2学期以降は2回以上の派遣を実現している。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	ALT派遣回数だけでは、児童・生徒の英語力向上を計ることは難しい。各校に対し、ALTを派遣した授業の振り返り(満足度調査等)を実施するなど、本事業の評価指標を新たに設定する必要があると考える。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	A L T 2名体制を実現できたことで、学校への派遣回数を大幅やすことができ、児童生徒のがネイティブの英語に触れたり、異文化に触れる機会を拡充するという成果を上げることができた。反面、学校への派遣のあり方やA L Tの授業力の向上、教員との連携など更に改善を図るべき課題も明確になった。

④ 改善 (Action)

2019年度方向性	2019年度は、2020年度から全面实施される「小学校3・4年生の外国語活動、及び5・6年生の外国語科」への移行期間の最後の年度である。児童・生徒が、抵抗なく英語に親しめるよう、各校でのALT活用の促進や授業の充実を図っていく。また、児童・生徒が多様な文化や発音に触れる機会を得られるよう、2019年度は新たなALTとの契約を締結する。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明